

## 【3Gシールドへの期待】

NPO法人3Gシールドアライアンス事務局

平成25年6月28日

これまで3Gシールドを紹介してきた方々から「3Gシールドへの期待」のコメントを頂きましたので、ここにまとめてご紹介いたします。

### ■学校関係の先生方から

▼某私立大学情報系教授：「これまで学生が就職しても、企業側からはすぐに役に立つ新入社員はいないと言われてきた。しかし、3Gシールドでの教育だと、高度で最先端の技術による実践に近い教育ができ、企業側の見方も変わるのではと感じた」

▼某国立大学情報系教授：「これまでの情報系の教育は、ソフトだけに偏っていたが、Arduino+3Gシールドによる教育だと、ハードも含め五感を通じた教育ができる。学生らの創造を掻き立てる授業も可能となる」

▼某公立高校情報系先生：「3Gシールドは、生徒らに教える授業ではなく、創造させる授業が行え、しかも世の中の最先端の技術も学び取ることができ、これまでに無い教育環境が提供でき、新たな教育として期待できる」

▼某国立大学工学系教授：「M2Mビジネスは、ニッチなビジネスが多く、大企業はなかなか入っていけない分野であった。しかし3Gシールドだと試作・プロトタイプ開発に向いていることでは、このM2Mビジネスでの広がり期待が持てる」

▼某私立大学工学系教授：「大学教育での新設学科検討において、何を学ばせるかで苦悩していた。しかし、Arduino+3Gシールドは、最先端技術によるセンサ技術や通信技術、それにインターネット技術の3つにまたがる教育ができ、あらゆる分野での応用展開の可能性がある」

▼某国立大学農学系准教授：「農業用監視モニタリングなどは、今後普及の期待が持てる。しかし、まだまだ大手メーカーなどのものは価格が高く、簡単に設定できなかった。しかし3Gシールドを使った監視モニタリングシステムだと、リーズナブルなところで手作りで作成できる」

▼某国立大学農学系助教：「日本の農家は、規模的に小さいところが多く、ITを使うにも高い機器を購入することは難しい。今回3Gシールドを使った植物監視システムが10万円以下で提供されるのであれば、一般農家でも購入できる期待がある」

▼某国立大学工学系助教：「電力の見える化システムの開発をLANやローカル通信機器を使って行ってきたが、大学内のセキュリティの問題があり、直接サーバへ繋げない問題が発生した。これを3Gシールドに置き換え使えるようにしたことで、LANの敷設は不要となり、セキュリティ問題も解決し、簡単に設置できるメリットも出てきた」

▼某国立大学海洋学系助教：「最近、日本近海で観測データを取りたいと考えていて、携帯電話やスマホが、日本の近海でも広く繋がることが分かり、どうにか3G通信でできないかと検討していた。3Gシールドだと、自分たちでも開発できることが分かり、応用できる可能性を知った」

▼某商船高専先生：「瀬戸内海のどこでも、3G通信が繋がる。このことで、3Gシールドを使った研究開発での試作を行う」

▼某私立大学准教授：「3Gシールドを使った研究だと、助成金や補助金申請での研究提案が多くできる。また新規テーマとしてもこれらを取得できる可能性は大きい」

## ■企業関係の方々から

▼某ソフト開発中規模企業：「すでに独居高齢者見守りを、スマホを使って開発してきたが、普及展開において、ハードの技術面でスマホには手を出すことが難しい思いがあった。しかし3Gシールドだと、わずか1日でやりたいことが理解することができ、今後の可能性を大きく感じた」

▼某ハード装置小規模メーカ：「ちょうど遠隔操作できる通信機器の開発を手掛けていて、通信モジュールを捜していたら、知人から3Gシールドの存在を教えてもらった。この3Gシールドによって、ほとんど日本の広いカバー率を持つことで、応用展開の可能性に期待がもてる」

▼某ハード機器中規模メーカ：「オープンソースハードウェアの概念は、なかなか企業としては取り入れ難いと考えていたが、大手企業の研究開発や起業する人たちが使い始めていると聞き、自分たちでも旨く取り込んでいくことが必要と感じてきた」

▼MCPCモバイルM2Mワーキンググループの方々：「これまで通信モジュールは、ATコマンドを学ぶという技術ハードルが高く、これを習得するのに多くの技術者が挫折していた。しかし3Gシールドは、極端に技術ハードルを低くし、誰もが通信技術を習得できることは驚きである」、「これまで10年以上M2Mビジネスは、大きな市場があると期待され続けてきたが、実際には期待外れであった。そこに3Gシールドの登場で、M2Mビジネスのすそ野を広げてくれる期待がもてた」

▼某大手コンサルティング会社：「これまで総務省や著名な先生らと一緒にM2Mビジネスを広げようとしてきたが、最近いろいろと難しさを感じてきていた。しかし、3Gシールドは、オープンソースハードウェアという新しい概念で、しかもArduinoという多くの資産を使って、安価で利用できることでは、新たなところでM2Mビジネスの拡大が期待できるのではと思った」、「世の中にMakersという風潮が出てきて、誰もが簡単にモノづくりする新たな産業革命が起きていることも少しずつではあるが、実感しはじめている」

▼某大手ハードメーカ：「新しい研究開発部門としてテーマの探し物をしていたが、3Gシールドは、通信技術が分からなかった我々でも簡単に使える環境があり、新たな新規商品の開発に繋がられる可能性を感じた」

▼某大手計測メーカ：「これまで専用の通信モジュールを使って開発してきたが、小ロットを開発するにも、通信機器メーカの言いなりになっていて、ブラックボックス化され、思うような機器開発ができなかった。しかし3Gシールドの可能性を知り、自分たちでも思い通りの通信モジュールを組み込んだ開発ができることを知り、今後への期待が持てた」

▼某小企業機器メーカ：「これからの中小企業は、新しい独自技術を持つ必要があると探していたら、3Gシールドの存在を知った。なかなか3Gのような通信技術は、自分たちで身に付けるには難しいと感じていたが、アライアンスを通じて、お互いの協業関係で技術的な不安を解消できることで期待がもてると感じた」

▼某大手通信企業：「通信機器の開発での試作が、3Gシールドによって短時間で、簡単に、安価でできることは、とても魅力的である。自社内に勉強会などをたちあげて、広く浸透させていきたい」

▼某大手通信企業：「何か新規ビジネスを模索しているなかに、3Gシールドによるクラウドビジネスなどを考えている。センサネットワークでの蓄積データを、価値あるものとして、クラウドに溜めていき、分析・評価していくシステムは、今後多くのビジネス市場になっていくと期待している」

▼某小企業メーカ：「3G通信を使う上では、どうしても毎月の支払いの費用が発生し、採用に躊躇するところであった。しかし、安価なSIMカードがどんどん出てきて、特に気にしなくても良い状況までになってきていて、3Gシールドを使う上で、自由にSIMカードを選択できるのは魅力的である」

以上